



2021 年 6 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社リベルタ  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 透  
(コード番号 4935 東証 JASDAQ)  
問合せ先 取締役管理部部長 二田 俊作  
(TEL. 03-5489-7661)

**ニッポンの夏を“着る”ことで涼しくする新常識を提案する  
「HEAT RESCUE PROJECT (ヒートレスキュー プロジェクト)」始動のお知らせ**

当社は、クーリングウェア・ギア「FREEZE TECH」より、「ニッポンの夏を涼しく変える！」をキーメッセージとしたプロジェクト「HEAT RESCUE PROJECT (ヒートレスキュー プロジェクト)」を、6月2日からアンバサダーに東国原英夫さん、ヒロミさんを迎え、始動することといたしましたので、別紙の通りお知らせいたします。

着るは、涼しい。

# HEAT RESCUE PROJECT、始動

## ニッポンの夏を“着る”ことで涼しくする新常識を提案 ～アンバサダーに東国原英夫さん、ヒロミさんが就任～

株式会社リベルタ（東京都渋谷区、代表取締役 佐藤透 以下、リベルタ）が展開するクーリングウェア・ギア「FREEZ TECH（以下、フリーズテック）」は、「ニッポンの夏を涼しく変える！」をキーメッセージとしたプロジェクト「HEAT RESCUE PROJECT（ヒートレスキュープロジェクト）」を、本日2021年6月2日（水）より始動いたします。

＜HEAT RESCUE PROJECT 特設サイト： <https://lodef.jp/freetech/heatrescue/>＞

2020年の夏に熱中症で搬送された方は6万4,869人までに上り（※1）、地球温暖化の進行により2100年には最悪の場合、平均気温は最大4.8°C上昇すると予想されています（※2）。年々酷暑を増す日本国内において、炎天下で働くワーカー、アスリート、そして子どもから高齢者の方々まで多くの方が苦慮しています。その中で立ち上がる「HEAT RESCUE PROJECT」では、〈直射日光から肌を守り〉、〈汗の吸収・蒸発で体熱を冷ます〉という暑さ対策の二大機能をはたす「服の力」に着目。年々酷暑を増すニッポンの夏を涼しくする新常識の発信・取り組みを行ってまいります。そして、プロジェクトの2021年のテーマは、「着るは、涼しい。」暑い夏はつつい薄着になりがちなシーズンですが、衣類を「着る」ことによる暑さ対策を提案いたします。

HEAT RESCUE PROJECTでは、企業、自治体、スポーツ団体、研究機関などと一緒に暑さ対策プログラムを実施します。また、より多くの方に衣類を「着る」ことによる暑さ対策を訴求する「HEAT RESCUE AMBASSADOR」として、元宮崎県知事であり、普段からランニングをされている東国原英夫さん、タレントとして活躍しDIYで人気を誇るヒロミさんが就任。企業、自治体、スポーツ団体、研究機関、そして東国原英夫さんやヒロミさんをはじめとしたアンバサダーとともにニッポンの夏を涼しくする取り組みや対策を発信してまいります。

（※1）6～9月累計 総務省消防庁統計より参照

（※2）IPCC「第5次評価報告書」2014年、1986～2005年の平均気温と比較したRCP8.5シナリオ

## 2021 PROJECT THEME



服がもつ冷却機能にフォーカスして、  
ニッポンの夏を涼しくする新常識を提案します。

### ミッション

ニッポンの酷暑を救う！

サステナビリティの観点から、環境保護と両立できるエコな暑さ対策を提案。酷暑なニッポンを救います。

### ビジョン

未来のために行動をする

酷暑から身を守るために「今、できること」から始めましょう。今日の私たちの行動が未来を少しずつ変えます。

### パートナーズ

オール・ニッポンの底力

日本を支えるワーカー、自治体、企業、団体などプロジェクトメンバーが集結し、夏を涼しくするアクションを広げます。

# HEAT RESCUE AMBASSADOR

HEAT RESCUE PROJECTをより多くの方へ届けるアンバサダーに、元宮崎県知事の東国原英夫さん、マルチタレントとして活躍するヒロミさんが就任。また、スポーツアスリートや格闘家、オートバイライダーなど、多種多様なアンバサダーがニッポンの夏を涼しくするべく活動いたします。



東国原英夫さん アンバサダー就任コメント  
酷暑から、国民一人ひとりを救い、環境を守る。  
そのために今できる行動を起こしましょう。  
ニッポンの夏、どげんかせんといかん！



ヒロミさん アンバサダー就任コメント  
夏を乗り越えるには、よく働いて、よく休んで、よく遊ぶ！子どもからお年寄りまで暑さ対策を万全にして、元気に夏を過ごそうぜ！

## 暑さ対策とパフォーマンス維持には「着る」トレ。衣類は＜生地温度＞に注目。

国際武道大学大学院武道・スポーツ研究科教授の笠原政志氏は、「実際のスポーツ現場において、アンダーウェアの着用有無によってパフォーマンス低下を抑制する研究結果が出ています。夏だからこそ、肌着を“脱ぐ”ではなく、“着る”ことによって、むしろ熱中症対策とパフォーマンス低下を抑えることに繋がる可能性があります（※1）。さらに、単純に“着る”だけでなく、肌着や衣類が持つ「生地温度」に注目してみると良いでしょう。厚生労働省の調査結果によると、死傷災害の中には、熱中症発症時に通気性の悪い衣服を着用していた事例も見られました（※2）。通気性の悪い衣服については、体温の放熱を妨げる原因となり、深部体温の上昇を促してしまいます。夏の暑さ対策としては、肌着を“着る”ことに加えて、体温をコントロールするために有用な“生地温度”という新たな意識をもって着衣を選んでいくことが大切です。」と夏に向けた対策を肌着から変えていく必要性を唱えています。

（※1）出典：NPO法人コンディショニング科学研究所 笠原政志博士「水撃の着用がランニング時の筋温および皮膚温に及ぼす影響」（2019）より

（※2）出典：厚生労働省が公表した「2020年 職場における熱中症による死 TRT 傷災害の発生状況」（2021年1月15日時点速報値）より



《専門家プロフィール》  
笠原 政志（かさらは まさし）博士（体育学）

国際武道大学大学院武道・スポーツ研究科 教授／NPO法人コンディショニング科学研究所 理事  
ハイパフォーマンスサポートとスポーツ傷害予防につながるスポーツ医科学情報の発信をしつつ、小学生からトップアスリートまでのコンディショニングサポートを行っている。

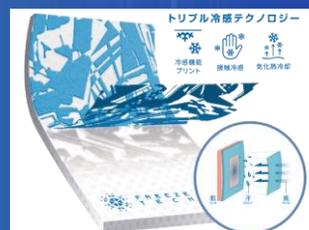
## 夏のウエア選びの新基準〈フリーズテックの氷撃冷感プリント〉

夏のウエア選びで着目したいのが「生地温度」です。生地温度とは、肌が生地に触れているときの体感温度。最近、接触冷感の衣類が増えていますが、「フリーズテック」は、接触冷感機能のある衣類に〈氷撃冷感プリント〉加工を施しており、“冷感持続性”に優れています（※1）。

〈氷撃冷感プリント〉は、一般的な接触冷感生地から、更に-1.4℃の冷感を実現（※2）。エリスリトール、キシリトールを含有した特殊加工テクノロジーで、【汗の吸熱特性で生地温度低下】【風を受けるとともに冷感が高まる】効果で涼を呼び込むことができます。

（※1）冷感プリントが水分に反応している間

（※2）:2016年1月7日実施、冷感プリントの涼感性能評価より <https://lided.jp/freetech/>



### 株式会社リベルタについて

『喜びを企画して世の中を面白くする』という理念のもと、物を得る喜びではなく、その物を得ることで得られる「ココロの喜び」を創造します。削らない角質ケア「Baby Foot」、恋するハミガキ「DENTISTE」、目に見えて効果がわかる洗濯槽クリーナー「カビトルネード」、スイス製ミリタリーウォッチ「Luminox」、明日を見るボディメイク食品「アスミール」など、機能衣料事業をはじめ、美容・家庭日用品・腕時計・加工食品など幅広いジャンルの商品・サービスの企画開発・販売をしています。リベルタは、常識にとらわれない自由な発想で、商品を総合的にプロデュースするのが得意な会社です。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

リベルタ PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内） 担当：奥抜（090-9152-6320）古東（080-4444-7861）、林田  
E-mail : [freezeteck\\_pr@ssu.co.jp](mailto:freezeteck_pr@ssu.co.jp) TEL:03-6894-3251/FAX : 03-5413-3232